

# 平和の風景

1982年

6

改憲で、自民党の最大の最大勢力者、岸元首相と田中元首相が手を握った。何をしようとするのか。

改憲をめざす自民党議員らの「自主憲法期成議員同盟」の事務局は、国会議事堂のすぐ裏手、衆議院第一議員会館の一階にある。部屋は入り口に、看板はない。会長は、岸信介・元首相。二十七年、サンフランシスコ平和条約発効で、公職追放

を解かれ、政界に復帰して以来、一貫して改憲を叫び続けてきた。昨年五月二十五日、この事務局で、一通の封書が郵送されてきた。田中角栄・元首相の、自筆の入会申込書である。内閣官房監修「田中内閣総理大臣演説

## 田中・岸連携急ピッチ

二人の元首相の「接近」についての証言がある。「岸先生と田中先生は、ダブル選挙後の五十五年暮れごろから、いろいろな会合で同席した折、親しく話を交わすようになった。エールの交換を通じて、ロッキード事

件で窮地にある田中さんが心配をよくしたのか、岸先生を持ち上げ出した(清原淳平・自主憲法期成議員同盟事務局長)入会を機に、田中元首相の発言は、変わりはじめた。昨年九月三日、田中派の若手が集まる「七日会」の箱根での研修会演説した。「日本人は、現行憲法を英知と努力で消化し、定着させている。しかし、人間は、豊かになると勝手なことをいうようになる。そんな前にも、日本人に合憲憲法、法律制度をいかに守りつづけていくか、これは当然だ」

「改憲」なら、「こいつまで言っておくのか」「日本人は、国の基本法の憲法をどうするか。継続的に勉強することが必要だ」と

この席で、田中元首相、福田元首相が議員同盟の顧問に、一階議員・党幹事長ら三役が副会長に、加藤六月・党全国組織委員長らが常任理事に、それぞれ就任すると披露された。四月七日、衆議院第一議員会館一階の、議員同盟事務局の隣室で、憲法調査会事務局が、地下二階から、移転してきた。五月、憲法調査会の四つの分科会が、「改憲草案(Ⅰ)」に向かって、動き出した。

## 結びつく

今年三月十七日。午後五時半から、自民党最高顧問に就任した岸元首相の祝賀会が、東京・築地の料

会のおもな参加団体は、仏所護念会、生長の家政治連盟、国際勝共連合、日本郷友連盟、日本米穀士会など。エールの交換、二人の接近には、さまざまな見方がある。「今までの、角さんが岸さんに助けてもらったことはない。岸さんの方が、娘婿の安倍通産相の将来のことを考えてのこと、あたりではないか(党最高顧問)。「憲法を改正すれば、吉田茂さんの次(角)に後世に名を残せる、とたれかが知恵をつけたのでは」(増田甲子七元官房

記念贈呈のおと、岸元首相があいさつした。「老人のくせに出してもはりの過激なところがあることでは、どうも皆さんから遠慮なく注意をいただいた。……しかし、今のところは、精神的にも体力的にも、国のため、国民のために奉公できませう……」

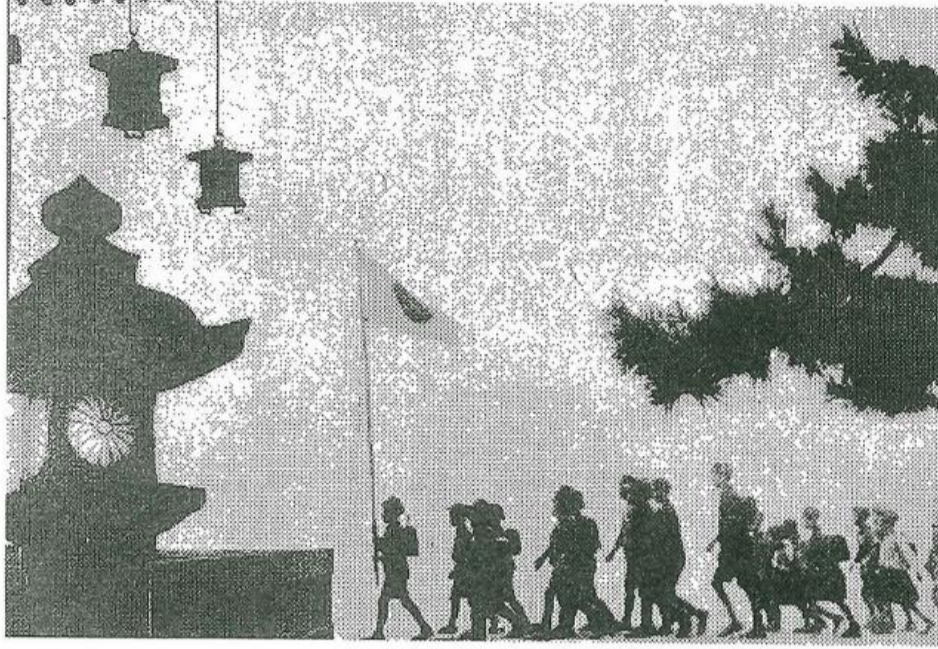
## ふくれあがる改憲勢力

自主憲法期成議員同盟 昭和30年設立。55年の衆参同日選挙までは百七十人前後だった。しかし、田中元首相が入会した昨年5月から田中派を中心に増え、現在三百四十人。自民党全国議員の四分の三に迫る。首相経験者の未入会者は、三木元首相だけ。岸 信介氏、85歳。議員同盟と対になって改憲をめざす民間の運動組織「自主憲法制定国民会議」の会長でもある。同会は44年発足、55年から地方議会に改憲決議を働きかけている。同

長官・自主憲法期成議員同盟副会長。「憲法問題と口事件をからめて岸・田中が握手した、というわけではなし」(吹田徳一、同議員同盟常任理事) 清原 淳平氏、堤康次郎元衆議院議長(故人)秘書を経て、教育哲学の研究所に没頭。53年秋、議員同盟の事務局に。当時、加入議員も少なく、活動は低調だった。「精神を伴って」「こいつ(協和協会)」「岸信介会長」も常務理事として切り返す。50

## 戦争は

朝霧の中、日の丸を掲げて平安神宮(会館)に参拝する子供たち 昭和17年2月



## 政治倫理

# 追及不発に怒りの声

話 私は自民党員だが、疑惑の解明、政治倫理の確立は自民党のためにも必要だと思つた。これをどうやらにすれば、国民の政治不信は募るばかり。全国会で